

## そらこめ通信 No.95 2019年6月1日発行

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

約半年ぶりの「そらこめ通信」の発行です。皆さま、お変わりございませんでしょうか。本年5月1日を以て新しい天皇がご即位されるとともに元号が「平成」から「令和」に改まりました。日常生活において何かが変わったというわけではありませんが、何となく新たな時代の幕開けのような気分になっております。個人的には、5月4日に北海道神宮に参拝し、平成という時代への感謝と令和の安寧を祈願してきました。円山公園の桜が満開で(公園内を漂う焼き肉の煙が少々気にはなりましたが)、とても良い時間を過ごすことができました。

さて、今年もコメ作りに関する一連の作業が始まっております。2月中旬から育苗ハウス周辺の除雪が始まり、3月中旬にはハウスの組立て、3月末から4月にかけて苗床の耕起や種もみの準備など。4月中旬からは種まきが始まり、続いて田起こし、代かき、そして田植えと、5月末まで作業が込みあっています。今年は平年に比べて雪解けが早かったおかげでほ場の乾燥が進み、田起こしが順調に進みました。また、田植え期間中(5月20日から28日)には北海道とは思えぬほどの好天に恵まれたことで、移植された苗は今のところ順調に育っております。先ほど「北海道とは思えぬほどの好天」と書きましたが、いくらなんでもちょっと暑すぎましたね(笑)。真夏日が数日続いた中、5月26日には道東の佐呂間町で39.5度を記録。5月に猛暑日の35度を超えるのは北海道では史上初なのですが、佐呂間町の39.5度は全国でも5月の最高気温を更新したようです。いきなりの異常気象から始まった今年の作付。果たしてどんな出来秋を迎えるのか、心配でもあり楽しみでもあります。



「ななつぼし」のハウス(4月30日)



4月17日に播種された「ななつぼし」の状況(4月30日)



4月24日に播種された「ゆめびりか」の状況(4月30日)



「おぼろづき」のハウス(4月30日)



「おぼろづき」のハウスの内部(4月30日)



田起こしのような(4月30日)



代かきを終え田植え直前のほ場(5月18日)



納屋の入口に貼ってあった社名のシール



自動播種機による種まき作業(4月23日)



種もみが投入された育苗ポット(4月23日)



育苗ポットをハウスに並べる(4月23日)



ポットをハウスに送り込む作業(4月23日)



ダリアの苗の移植作業(4月27日)



小雨が降る中、田植えが進む(5月21日)



田植えも終盤(5月27日)

皆さんはタニシ(田螺)って知っていますか？昔は田んぼや水路などに多くいたようですが、最近ではあまり見ません。先日、田植えの時に伺ったのですが、田んぼにいるんですよ、タニシが。しかも大量に。僕自身はタニシをあまり見たことがなく、驚いていたら皆に笑われました(笑)。場所にもよりますが、結構いましたね。農薬を制限しているせいか、温暖化のせいなのか。これが自然なのか。

インターネットで美味しいお米！

(株)空知こめ工房 ホームページ  
<http://www.sorachi-kome.jp/>  
 facebookによるブログ「生産日誌」更新中